

2016年度
後期授業アンケート
集計結果に対するコメント
【看護学部】

人間環境大学 FD委員会

看護学部・看護学研究科分科会

■集計グループ 学部全学集計
 ■アンケート回答数 2,395人
 履修登録者数 5,600人
 回答率 42.8%

■設問別評価集計表

アンケート設問内容	評価構成 (上段：回答人数・下段：構成比)				無回答
	回答④	回答③	回答②	回答①	
	そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない	
1 あなたはこの授業に十分な回数出席できましたか。	2,049 86%	320 13%	21 1%	4 0%	1
2 あなたはこの授業内容に十分集中して受けることができましたか。	1,426 60%	827 35%	127 5%	12 1%	3
3 あなたは時間外の予習や復習など積極的な学習努力をしましたか。	1,003 42%	930 39%	370 15%	90 4%	2
4 教員は授業をシラバスに沿って進めていましたか。	1,559 65%	774 32%	48 2%	10 0%	4
5 教員はあなたが授業の予習や復習をするよう、十分に喚起していましたか。	1,227 51%	896 37%	232 10%	32 1%	8
6 教員は授業時間を適切に使っていたと思いますか。	1,535 64%	770 32%	69 3%	17 1%	4
7 教員は学生の質問や意見を引き出すような問いかけをしていましたか。	1,382 58%	832 35%	150 6%	26 1%	5
8 学生の質問に対する教員の反応は熱心でしたか。	1,456 61%	796 33%	124 5%	14 1%	5
9 授業は学生の私語などが無い環境でしたか。	1,275 53%	813 34%	232 10%	70 3%	5
10 授業の進行の速さは適切でしたか。	1,424 59%	842 35%	98 4%	25 1%	6
11 教員は教科書、プリント、視覚教材など教材・教具を適切に使用していたと思いますか。	1,498 63%	779 33%	83 3%	29 1%	6
12 授業内容は理解できましたか。	1,215 51%	922 38%	199 8%	51 2%	8
13 授業の内容に興味・関心を持ちましたか。	1,275 53%	872 36%	190 8%	51 2%	7
14 教員は履修科目の単位修得のために必要な指導を行っていたと思いますか。	1,419 59%	845 35%	108 5%	16 1%	7
15 授業で、自分にとって有益な新しい知識が得られましたか。	1,462 61%	809 34%	93 4%	20 1%	11
16 受けた授業については全体的に満足していますか。	1,366 57%	862 36%	128 5%	25 1%	14

NO	授業コード	授業科目の名称	担当教員	履修登録者数	コメント
1	BB0301	英語Ⅲ	西牟田 祐美子	20	本授業においては、医療関係の英語のみならずゲーム、ロールプレイ等をしなが ら英会話にも真剣に取り組んでいた。学生の授業アンケート結果からも、それぞ れが授業中十分積極的に参加できていたことがうかがわれる。それぞれの自宅 学習に関しても、十分促されたことがうかがわれた。ただクラスごとにレベルも違う ため習熟度にも違いがあり、「受け身の授業でなく楽しかったが授業のレベルが 違い不公平な感じがした。」とコメントした学生が一人いたので、これからは考 慮に入れたいと思う。
2	BB0302	英語Ⅲ	Cabrido Erwin Figarola	22	The course was a continuation of the first semester and focused on topics that reflect the latest developments in nursing. The textbook "English for Nursing 2" provided more challenging lessons that gave the students plenty of opportunities to sharpen their English skills needed to succeed in the nursing field. I enjoyed teaching this class. The students liked the class also and had fun learning English. I suppose they were glad to say goodbye to pattern drills and rote memorization that are so prevalent in high school English classes.
3	BB0303	英語Ⅲ	Ngaire Anne Keenan	22	This class were very shy in the beginning but always diligent and willing to practice. They came to class very well prepared and although they had limited experience with communicating in a foreign language. They were very precise with note taking, and for the most part, were able to remember what they had been taught almost immediately. They had a tendency to underestimate their own ability but this improved
4	BB0304	英語Ⅲ	Edward Van Der	23	今期学生は真剣に授業に取り組み続けることができた。クラス環境はとても良く、 コミュニケーション能力を伸ばすことができた。前期と比べ、学生がとても楽しめる より多くのゲームやアクティビティを取り入れた。このクラスでは特にスピーキング 活動時、大変やる気があり活発に課題を完成させた。クラスの雰囲気は落ち着い ていて、疑問に思うことがあれば質問ができていた。また、授業内容も適切であっ た。改善をするのであればわずかに授業内容と進行を変更するのみである。
5	BB0305	英語Ⅲ	Lisa D. Mandziak	22	I hope the students will find the interaction with each other and with me to be helpful in their future meetings with foreigners. I will continue to challenge the students to do things they aren't used to hope they enjoy the activities and not be discouraged if they don't understand at first.
6	BB0401	英語Ⅳ	西牟田 祐美子	18	本授業では、医療関係の英語のみならず、一般的な英語表現をゲーム、英語の 歌を使って会話、リスニングにも取り組んだ。アンケート結果からは、多くの学生が 意欲的に授業に取り組んで、英語に興味を持ったことがうかがわれた。それぞ れの自宅学習に関しても、十分促されたことがうかがわれた。1年間楽しかったとい うコメントがあった。
7	BB0402	英語Ⅳ	Cabrido Erwin Figarola	24	The course was a natural extension of the lessons in the first semester. The textbook "English for Nursing 2" provided strong emphasis on clearly defined language used in different situations in the nursing profession. The students also became familiar with the many technical terms used by real nurses in their job. This class was not easy to teach. Although many students actively participated in the class activities, some lacked the motivation to study. One area that I think I need to improve on is how to deal with students who disrupt classes by talking among themselves, using their mobile phones, or arriving late.
8	BB0403	英語Ⅳ	Ngaire Anne Keenan	23	This class was very easy to teach as the students were generally outgoing and active. Communication activities were fun and participation in games and pairwork was very good overall. They were apt to chat in Japanese between activities and this occasionally led to issues with concentration and focus. However as the course progressed this visibly improved as did their ability to recall new learning. The class in general seemed to really enjoy English and had a very open and positive attitude towards all activities. Occasional lack of accuracy could be easily managed with more practice.

NO	授業コード	授業科目の名称	担当教員	履修登録者数	コメント
9	BB0404	英語Ⅳ	Edward Van Der	22	医療に関する言葉を学び、スピーキングに自信がでた。コメントはとでも前向きなものばかりであった。生徒はキーフレーズを自信をもって適切な場面で使うことができるようになった。授業内容も適切であった。今期、学生がとても楽しめるより多くのゲームやアクティビティを取り入れた。また、授業中課題を課す時には日本語も使用したため、学生が何をしなければいけないのか困惑しなかった。総じて今期はクラス全体が意欲的となり、好結果となった。学生の成績は、積極的に参加できたかどうか反映された。改善をするのであればわずかに授業内容と進行を変更するのみである。
10	BB0405	英語Ⅳ	Lisa D. Mandziak	22	The students were very responsive to all the activities presented to them. I hope they will continue to be open to new things and that in the future, when they meet a foreigner, they will not be worried to try, even if they make mistakes.
11	BB0501	中国語Ⅰ	川口 奈々美	48	今回履修人数がかなり多かったため、授業中は学生の私語があり、あまりよい授業環境ではなかったかもしれません。授業中に私語を止めなかったことについては真面目に勉強したい学生に対し申し訳ない気持ちです。今後はもっと学生の集中や反応を引き出せる授業、私語がない授業を作って行きたいと思います。また、来年の履修人数を20人までに制限することを検討させていただきます。
12	BC0301	人間関係論	木幡 洋子	10	受講者が10名のため目配りは容易だったはずだが、「そう思う」の比率は全学集計平均よりも低い。唯一平均より高いのは「有益で新しい知識が得られたか」という項目である、このことから、新しい知識を得られたものの、それが自分の変化のために役立っていないという想いがあることが推測される。そうした授業全般に対する疑問あるいは物足りなさを解消するために、実践的なワークを考案していくことが今後の課題である。
13	BC0601	体育実技	伊藤 敦子	12	運動の実技種目なので、できるだけ学生の皆さんには身体をたくさん動かしてもらいたいと考えています。健康に関わる仕事を目指す皆さんには、合わせて健康と運動の関係について考え、まずは自分の運動習慣をつけてもらえるように、授業がその動機付けにも役立つとよいと思います。運動欲求の高い学生が多い感じがします。それを満足できたらと思います。
14	BC0602	体育実技	押村 果奈	28	積極的に取り組む学生が多く、非常に賑やかに授業を展開できたかと思えます。本授業では様々なスポーツを通して身体を動かすことの楽しさを体験するとともに、自分なりにルール等を工夫し指導できるようになることを目標としておりました。アンケート結果からしても、満足している学生が多かったと思えます。受講者同士での話し合いの時間が多い授業ですが、今後も授業と休憩の時間のメリハリをしっかりとつけ、楽しいだけでなく、時に厳しく授業を行っていただければと思います。また、学生の皆さんは授業で学んだことを活かし、継続して運動を行っていただければと思います。
15	BC0701	家族社会学	市川 季夫	47	看護学部の学生にとって、「家族」の持つ重要性を理解できるような授業を心掛けた。アンケート集計の結果をみると、「授業で、・・・有益な新しい知識が得られた」学生が約9割いたが、「授業内容に興味・関心を持ちましたか」では2割の学生が「あまりそうは思わない」と答えている。29年度の授業では、「家族」の機能・役割を意識した授業を展開したい。
16	BC0901	社会福祉学	塚本 鋭裕	109	本科目に関しては、社会福祉の成り立ちからスタートし、家族や地域を基盤に、生活レベルでの社会福祉の役割を学んでもらいました。授業は社会動向や看護師としても関わりがある制度や政策にも触れるためテキストを基本とせず、PPT資料を用意し、講義と演習を組み合わせながら進めました。また、毎回授業の後半に、テーマごとの事例を通し、その支援方法や支援内容に関して、学生とコミュニケーションを図り、社会的課題に対する社会福祉の重要性や身近なものとしての社会福祉を理解してもらいました。
17	BD0101	教職論	折出 健二	11	今後も授業シラバスに沿った構成と展開、教材・教具の多様な活用は学生からの高い支持にこたえていきたい。授業内容の理解については、全体では肯定的だが「そう思う」が半数を下回ったので、内容の水準や展開のスピードにも配慮して、理解しやすい授業にしていきたい。その一環で、17年度の当科目のテキストは選定を工夫した。

NO	授業コード	授業科目の名称	担当教員	履修登録者数	コメント
18	BE0301	解剖生理学ⅠB	石黒 士雄	110	回答で“あまりそう思わない”で高い数値(20%)の見られた部分に。⑫授業内容が理解できたかがある。対応策として講義内容のレベルを下げるあるのだが、内容の理解が進むためには日ごろの予習、復習が必須である。その対策にはどんなものを考えるかであるが…
19	BE0401	解剖生理学ⅡB	石黒 士雄	110	回答で“あまりそう思わない”で高い数値(20%)の見られた部分に。⑫授業内容が理解できたかがある。対応策として講義内容のレベルを下げるあるのだが、内容の理解が進むためには日ごろの予習、復習が必須である。その対策にはどんなもの考えるかであるが…
20	BE0501	微生物学	石原 由華	111	授業アンケートの「授業は学生の私語などがない環境でしたか」という設問で、5割弱の学生が「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」と答えていた。授業中の私語がいつも多く、何度も注意をしたが静かになることがなかった。今後は私語をできるだけ少なくするための対策として、学籍番号順に着席してもらうようにする。「授業内容は理解できたか」という設問では、約2割の学生が「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」と答えていた。学生が理解できるように、講義の終わりには授業内容のポイントを何度も繰り返し復習する。また講義毎に行う小テストの解説を詳細に行い、授業で学んだ新しい知識をより具体的なものにしていく。さらに教科書の内容を理解しやすくするために講義資料を配布しているが、今までよりも写真や挿絵など色覚的な内容を増やして、学生がイメージしやすいものにしていく。
21	BE0601	生化学	太田 美智男	114	学生の授業評価アンケート結果によれば、当該科目の評価は概ね全学集計とほぼ同等と思われる。ただし予習・復習については学生が努力をしていない結果だった。シラバスには毎回復習をするように記したが、残念ながら守られていない。生化学という科目は学生にとって内容的に難しいので、なんとか授業内で理解させることを目指した結果とも思われる。授業内容をあまり理解していない学生が25%いたが、生物学や化学の知識の乏しい文系の学生に生化学を理解させることは難しい。自由記載では非常に好評だったので、学生の学力個人差が大きいと思われる。低学力の学生に講義内容に興味を持たせるためには、多分実生活の改善も必要だろうと思われる。
22	BF0601	薬理学	堀田 芳弘	98	薬理学の授業は、薬物の作用機序などの知識を得るため、教科書などの図などをスキャンし拡大したプリントを用意した。不鮮明な箇所は、ページなども示してあるので教科書などで再度確認し、時間外の予習・復習して医学的知識を自分のものにしてほしい。また、自由記述にもありましたようにテスト範囲も重要な点を何回も授業で述べ単位修得しやすかった。授業をしっかりと聞き有益な新しい知識を得ることが必要となる。病院などの実務自習などが始まると授業で学んだ薬物などの理解が深まり、最終的には、得られた知識を国試問題の選択肢を正確に判断できるようにつなげる。
23	BG0401	公衆衛生学	藤原・原田	109	授業はシラバスに沿って進めており、出席率もよかった。しかし、授業内容は理解できましたかについて、「そう思う」17%、「どちらかといえばそう思う」47%と他科目とくらべて理解度が低かった。今後、パワーポイント1枚分の情報量を整理して興味・関心が持てるように心がけることで私語などがない授業環境を整える必要がある。また、予習や復習に積極的にとりくめるように教科書などの参照方法を伝えるなどの工夫をしてゆく。
24	BG0601	臨床心理学	西牟田 祐美子	67	本授業では、臨床心理学を「講義」「映像で実際の心理療法を観察」「ワークショップ」の3つの角度から、学修した。アンケートの結果からは、ほとんどの学生が、十分集中して授業を受け、予習復習にも取り組み、高い満足度を示していた事がうかがわれた。「ロールプレイで実際にクライアント役、心理士役をやりためになった。」「グループワークが多かった。」のコメントもあったが、「最後のテストの有無がシラバスに記されてなく勉強の予定が狂った。」との声もあり次回からは気をつけたいと思う。
25	BH0401	生活援助方法論	篠崎・服部	110	シラバスに沿って授業を進め、予習や授業後の確認テスト、復習(演習前の予習)で理解を深めることができたと思います。授業では理解がしやすいように、要点を強調した視聴覚教材を多く使用しました。授業内容が多いため、進行が早かったり、みなさんの意見等を聞く時間が不足していたりしたかもしれません。みなさんの理解度をみながら授業を進めていきたいと思えます。評価についてはシラバスにも記載しておりますが、ガイダンスで詳細に説明をします。

NO	授業コード	授業科目の名称	担当教員	履修登録者数	コメント
26	BH0501	生活援助方法演習	篠崎・服部・伊藤 山口・大林	109	看護技術が習得できるように、援助の要点を強調したビデオを作成・編集し直し、いつでもみなさんが確認できるようにWeb公開しました。分かりづらい部分は演習資料に画像を貼付したり、演習時にデモンストレーションを行ったりするようにしました。現在セルフトレーニング時にラウンドしておりますが、ラウンド回数や時期を検討したいと思います。しかし、援助は受け身では身に付きません。どの援助項目も積極的に質問・練習をして下さい。
27	BH0801	看護コミュニケーション論	篠崎 恵美子	109	模擬患者参加型の授業をとりいれて、概ね目標は達成できたと考えます。学生の積極的な時間外の学習努力について「あまりそう思わない」学生が5%でしたので、今後は時間外の学習を促すように科目をすすめたいと思います。また、「授業時間を適切に使っていたか」という問いに対して「全くそう思わない」が4%でした。授業時間の使い方も再度検討していきたいと考えています。コメントで「授業の空気◎」とあり、また全体的に満足している学生が「そう思う」62%、「どちらか」と「そう思う」35%でしたので、概ね授業としては良かったのではないかと考えます。
28	BI0201	小児看護援助論 I	倉田・深谷	98	この科目では、さまざまな健康問題をもつ小児とその家族への看護について理解することを目的に、具体的な事例や視聴覚教材を用いて学生が主体的に考えることができるよう工夫した。全体平均より「そう思う」の割合が高かった項目は、学生側では「集中して授業を受けた」「興味・関心」「全体的な満足」などであり、教授側では「シラバスに沿った内容」「質問への熱心な反応」「教材の適切な使用」などで、授業の工夫が反映されたのではないかと考える。一方、「予習・復習」については全体平均よりやや高い程度で十分とはいえないことが示された。今後は学習課題をより具体的にするとともに、その確認の機会をもつ必要がある。
29	BI2201	母性看護援助論 I	杉下・藏本・星	99	本科目は、周産期の女性および胎児新生児の心身の健康現象を理解し、看護実践を支える基本技術の習得を目的に、8回の授業のうち、6回の講義と2回の技術演習を実施しました。全学年構成比よりいい評価をいただきましたが、予習復習への喚起、質問に対する教員の反応、全体的な満足については、今後担当教員で改善を図ります。演習の前後は課題を提示し、予習復習を促しましたが、アンケートの結果からみると、講義においても予習復習をもっと喚起すべきだと思いました。また、学生の質問には熱心に指導しているのですが、7割に留まっているために、まずは質問等を引き出せるような反応を考えます。自由記載には高評価もありましたが、資料の間違いやスライドのわかりにくさの指摘を受けましたので、講義演習の前には担当教員で確認していくように努めます。
30	BJ0201	急性期看護援助論 I	柴山 健三	99	1)本科目は成人看護学急性期のベースになる科目である。成人患者の周手術期看護、急性期看護を概説した。また、臨地実習や使用したり、過去の国家試験でよく出た理論を中心に諸理論を概説した。2)学生諸君からのコメントに対して、応えられるようにしたいと考える。
31	BJ0401	慢性期看護援助論 I	加藤 亜妃子	98	「10. 授業の進行の速さ」「12授業内容の理解」の評価が低く、自由記載でも「書く量が多い」という危険があったため、来年度は教授内容を整理して時間をとって行えるように工夫をしていきたい。今年度は開講年度であったが、アンケートの項目は「そう思う」が全学年集計構成比よりも高く良かった。授業の構成や資料、教授方法については、継続的に学習ができるように予習や復習につなげる内容を盛り込み、学生が興味や関心を持つことができるように検討していきたい。
32	BK0201	在宅看護援助論 I	石井・福田・山本	99	本授業では在宅における療養者と家族が「生活すること」を支える工夫があることを目的に講義・演習を実施した。その結果、「有益な新しい知識が得られた」63%、「授業内容の理解度」の57%が「そう思う」で、やや低い傾向が見られた。授業内容では演習を組み入れ、3事例の看護過程の展開、環境アセスメント(住宅改修)を行った。今後は、事例についてイメージがわき、理解しやすい内容で進める授業展開を行う。また、グループダイナミクスが図れるよう、グループメンバーの組み合わせや演習方法について検討する。授業時間の延長があったため、授業(案)の再検討とスケジュールを修正する。
33	BK2201	公衆衛生看護援助論 I	石井・三徳・山田	21	当該科目は、全項目において全学年集計結果よりも評価はよい。「12.授業内容は理解できたか」では、4割の学生が「どちらかといえばそう思う」を選択しており、看護学各論が展開されていない時期から公衆衛生看護学の授業が始まる順序性の影響と考える。科目の配置は改善できないが、これを踏まえた丁寧な授業計画の必要性を再認識した。また、資料が多いことを1名が指摘しているが、科目の順序性による弊害を縮小するために必要な工夫は続けたい。
34	BK6201	精神看護援助論 I	松浦・郷良	99	授業時間、教員の姿勢、環境、授業進度、授業内容などは、ほとんどの学生から肯定的な評価を得ることができた。これからも、さらなる向上に向けて引き続き努力をしていきたい。時間外の予習・復習の学習努力については、非常に低い評価であった。今後は、予習・復習の状況を授業内で確認するための質問の時間や、ミニテストの時間を設けるなどの工夫をし、学生の積極的な学習努力を促していきたい。

NO	授業コード	授業科目の名称	担当教員	履修登録者数	コメント
35	BL0301	ヘルスアセスメント I	篠崎・伊藤・服部 山口・大林	99	概ね目標は達成できたと考えます。しかし、ヘルスアセスメントは統合看護学の位置づけであり、一部の学生には学習が困難な科目であったと考えます。実技については、原則は同じでも対象により異なることがあります。複数教員で教授しますので、原則は全教員で一致させました。しかし、細かな点では異なることもありました。その部分で一部の学生が迷ったことがあったようです。次回はその点をカバーしていきたいと考えています。デモンストレーションは、見せることができる技術とできない技術があります。細かな動きは一斉に確認することが困難ですので、デモンストレーションが有効でないと判断した技術はDVDを活用し、演習を実施しました。ラングやフィジコといったシミュレータの数に限りがあり、予約制をとってほしいという希望がありました。今後検討していきます。